

群馬の小学生に 道の役割など紹介

NIPPOが出前授業

NIPPO関東第二支店は2022年12月20、21の両日、群馬県の安中市立原市小学校1～6年生を対象に出前授業を行った。写真（NIPPO提供）。初日に1、2年生の低学年約200人、2日目は3～6年生の高学年約400人が参加。道の役割や道づくりの材料などを分かりやすく説明した。



同社は安中市内で「R3国道18号碓氷バイパス舗装修繕他工事」（発注・国土交通省関東地方整備局高崎

河川国道事務所）を施工しており、地域貢献活動の一環として同小学校に出前授業を打診し快諾を得た。

朝礼時間を利用して行った授業は各学年合同のため、使用する漢字にも配慮した資料を準備。身近な話題として遠足の移動などを例に挙げ、道の役割や道づくりの材料、実際の道路工事の様子を動画も交えて紹介した。

児童たちは初めてアスファルトや舗装のサンプルを目にし興味津々の様子だった。出前授業に合わせて寄贈した道路づくりに関する書籍には児童たちから多くの問い合わせがあった。児童からは「道には歴史があり、今では安全、安心な道になっていることが分かった」「当たり前だと思っていた道に感謝しながら通行したい」などの感想が寄せられた。

道の役割など学ぶ

NIPPOが原

市小で出前授業

NIPPO関東第二支店は2022年12月20、21の両日、群馬県の安中市立原市小の1～6年生を対象に出前授業を行った。写真。

同支店は、群馬県安中市内で「R3国道18号碓氷バイパス舗装修繕他工事」（発注：国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所）の施工を進めており、出前授業は、現場近隣への地域貢献の一環として行った。明治6年開校の同小は、現場と並行する旧中山道に面した立地のた

め、昔から道路とのつながりが深いことから、道路に関する出前授業の開催を打診したところ、快諾が得られた。

体育館での朝礼の時間を利用し、初日は1、2年生の低学年約200人、2日目は3～



6年生の高学年約400人を対象に授業を行った。各学年合同での授業となるため、使用する漢字にも配慮した資料を準備し、遠足での移動などを例に挙げ、道の役割、道づくりの材料、実際の道路工事の動画などを通じて、分かりやすく説明した。児童たちは初めて見るアスファルトや、さまざまな舗装のサンプルに興味を示した。また、道路づくりに関する書籍も寄贈した。児童からは「道には歴史があり、今では安心・安全な道になっていることが分かった」「当たり前だと思っていた道に感謝しながら通行したい」などの感想が寄せられた。